

東日本大震災から10年…

10年前の平成23年3月11日、東北地方を震源地として非常に大きな地震が発生し、各地で甚大な被害をもたらしました。

当町でも床上浸水5軒、床下浸水20軒。全壊6軒、半壊8軒、一部破損282軒の被害があり、地震があった11日には町内に開設された避難所に800名以上の方が避難し、度重なる余震や停電・断水による不慣れた生活など不安な日々が続きました。

今年で東日本大震災から10年が経ちます。この10年間、町では様々な防災対策を実施してきました。

この節目を機に、いつ起こるか分からない自然災害に備え、ご家庭でも今一度防災対策を見直しましょう。

▲栗山川をさかのぼる津波(平成23年3月11日)

津波避難タワーの整備

平成26年に上堺地区に津波避難タワーを整備しました。また、町では上堺小学校・白浜小学校・テンドーヴィラ九十九里・セザールマンション・光楽園老人ホームを津波避難ビルに指定しています。

海岸近くの道路には避難できる建物への案内看板を設置しています。



○津波避難タワー



○上堺小学校(上)、白浜小学校(下) 屋上へ避難するための階段



○案内看板